

平成 27 年 11 月 6 日

チーム関係者各位

新潟市ミニバスケットボール連盟

会 長 小澤 勝美

理事長 近藤 秀之

ゾーンディフェンスの禁止について (4)

深秋の候皆様におかれましてはご清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃、新潟市ミニバスケットボール連盟の活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

1 月 30 日「ゾーンディフェンスの禁止 (1)」5 月 16 日「ゾーンディフェンス禁止について (2)」6 月 10 日「ゾーンディフェンスの禁止について (3)」を当連盟では発表いたしました。

その後、9 月 12 日に日本ミニバスケットボール連盟より、「マンツーマンディフェンスの推奨 (当連盟 HP において 10 月 28 日に掲載済)」の発信を受けて、新潟市ミニバスケットボール連盟では以下の運用を行いますので加盟チーム各位におかれましては周知頂けるよう、お願い申し上げます。

11 月 15 日より開催される「第 41 回 秋季新潟市ミニバスケットボール大会」決勝トーナメントからの適用となります。

○コミッショナーの配置について

今後のコミッショナーの配置は原則として帯同にて行いますが、今大会においては連盟役員が補助として入ります。(帯同コミッショナー 2 名・連盟役員コミッショナー 1 名の計 3 名)

○マンツーマンと認められないディフェンスがあった場合の処置

コミッショナー席には黄旗・赤旗を設置します。

マンツーマンと認められないディフェンスがあった場合はコミッショナー席に設置してある黄旗・赤旗を掲げ審判に合図を送ります。

・黄旗の運用方法

当連盟では、指導者及び選手にマンツーマンの指導を行う事が第一義と捉え、マンツーマンと認められないと判断された場合は、黄旗を掲げ審判に合図を送り、ボールデッド時に時計を止めて、コミッショナーが該当チームの指導者にマンツーマンについての指導を行います。ただし、度重なる指導においても改善が見られない場合は、ボールデッド時に審判とコミッショナーが協議を行い、ベンチテクニカルを適用し、相手チームに 2 個のフリースローとボール保持を与えます。

※ボールデッドとは

バイオレーション・ジャンプボール・ファール・シュート成功時のエンド・サイドスローイン時の全てを指します。シュート成功時は該当チーム・相手チームは問わずボールデッドとみなし、時計を止めて指導を行います。

・赤旗の運用方法

当連盟では前述の通り、マンツーマンの指導が第一義と捉えておりますが、試合終盤など、該当チームがマンツーマンディフェンスを行わなく、明らかに相手チームに不利益が生じ、勝敗を左右する可能性があるると判断した場合は、赤旗によりゲームを中断します。

時計を止めるのは審判が止めた時ではなく、コミッショナーが赤旗を掲げた段階とします。審判が赤旗に気が付かずゲームが進行してしまった場合はコミッショナーが赤旗を掲げた時の時計に戻します。

ベンチテクニカルを適用については、審判とコミッショナーの協議によって決定します。

○スローイン時のオフボールマンへのダブルチームの解釈について

スローイン時はオフボールマンに対するダブルチームは禁止されておりますが、以下の二例をもって当連盟での解釈とさせていただきます。

例①

エンドスローイン時のオンボールディフェンスはスローインパッサーに対して背中を向けてはいけない（図 1）。ただし、パッサーとレシーバーの両方に対してハンドサインやアイサインを行っている場合は、オフボールマン・ダブルチームとは認めない（図 2）。

スローイン時のオンボールダブルチームを開始するタイミングは、スローインボールマンの手からボールが離れた段階とする。ダブルチームが収束したら速やかにマッチアップに戻る。

図 1

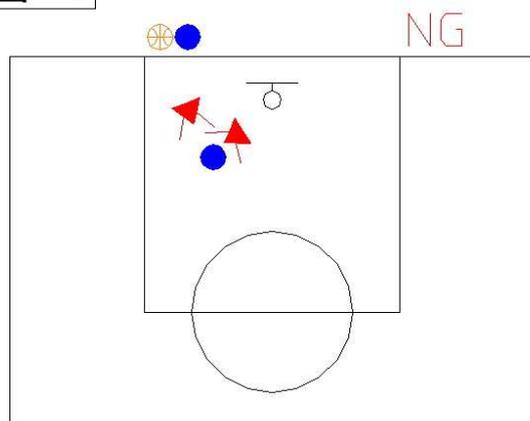
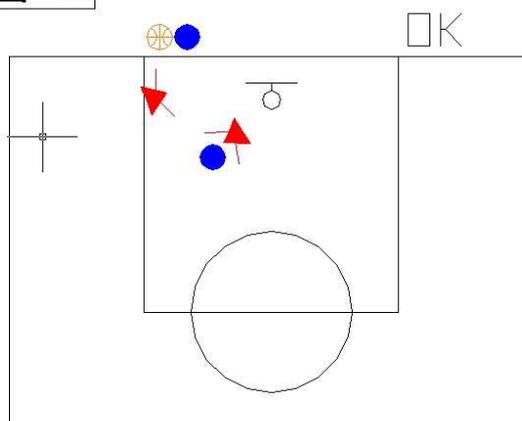


図 2



例②

スローイン時にオフボールマンがボールサイドカットなどを行い、スローインディフェンスに対して接触した場合はオフボールダブルチームとは認めない(図3→図4)。

図 3

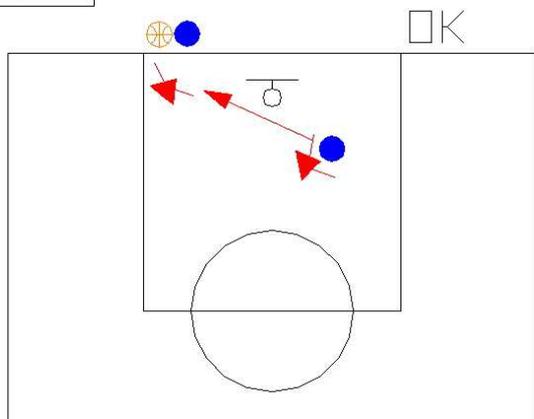


図 4

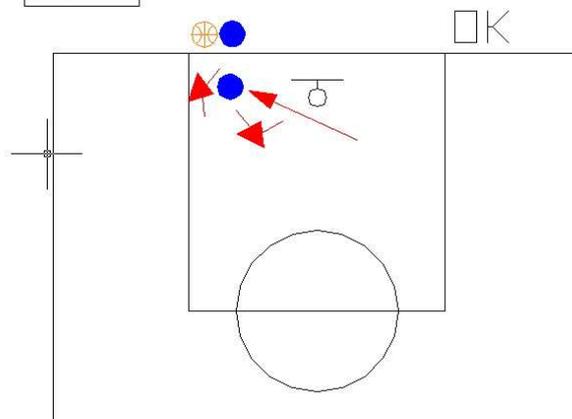
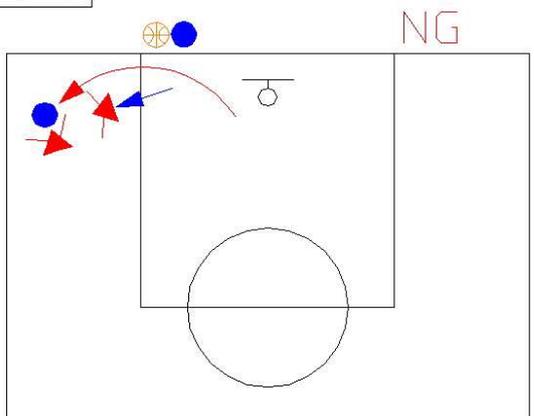


図 5



ただし、オフボールマンのカットイングが収束しアウェイする時にスローインディフェンスがオフボールマンに対しダブルチームをした場合は違反とする。(図5)

既に発表の通り、県大会への推薦を行わない場合もあります。判断基準としては「度重なる指導を受けた場合(単一ゲームで複数回ではなく、大会を通じて複数回)」 「ゲームの終盤などに、故意に勝敗に関わる違反を犯した場合」としますが、大会終了後、大会役員によってすみやかに協議会を開催し、推薦チームを決定します。

「罰則ありき」でコミッショナーは試合を確認するのではなく、しっかりしたマンツーマンを指導してもらいたいと言う事で判断します。
素晴らしい大会になるように参加チームの指導者は協力をお願いします。

以上